

徳島大学での 最高の留学生活

理工学部 理工学科 4年

HOANG TUAN TRUNG

(ホアントゥアン チュン) [ベトナム]



留學生
滞在記

私はベトナムから来たホアン・トゥアン・チュンといいます。海外留学は高校生のときからの夢であり、日本への留学を決めました。高校を卒業してベトナムで日本語学校に2年間通い、日本に来ました。徳島大学でさらに6か月間日本語を勉強して、その後学部に入りました。

私は留学生として「留学先でその国の文化に触れることができるかどうか」「さまざまな国から来た友だちと交流できるかどうか」ということが、とても大事だと思っています。徳島大学では、先生方や周りの学生の皆さんに優しくしていただき、いい人間関係がたくさんできました。キャ



神戸への研修旅行(筆者:右から2人目)

ンパス内にはEnglish Learning Communication Space& Culture Loungeなど国際交流スペースがあり、様々な国の留学生といつでも交流することができます。また、週末などには日本の文化を体験するイベントや旅行がよく行われており、私も積極的に参加しました。日和佐祭りでもちようさを担いだりオデオン座で芝居をしたりして、本当に楽しかったです。

私は子供のときからコンピュータとコンピュータゲームが好きでした。それで、徳島大学の理工学部理工学科情報システムコースを選びました。勉強の内容は情報数学、ネットワーク、プログラミング言語の基礎知識、ハードウェア



日和佐八幡神社秋祭り(筆者:前列左から2人目)

ア・ソフトウェアの基礎知識とその応用です。2年次に「ソフトウェア設計及び実験」という授業で、初めて自分でゲームを作りました。まだバグが多くて、あまり友だちに楽しんでもらえませんでした。プログラミングの基本を学ぶことができ、初めてモノづくりのおもしろさを感じるようになりました。3年次に「システム設計及び実験」の授業でロボットの開発をしました。最終コンテンツとして、共通エリアに置かれた宝物を自陣エリアに運ぶ3対3の対戦型トーナメントが予定されましたが、新型コロナウイルスの影響で中止になりました。残念でしたが、これからも様々なことに



美馬市のオデオン座での国際交流

触れてみて、卒業研究のテーマを見つけないと思います。

私は毎日、最高の留学生活を楽しんでいます。たくさんの人と出会い、いろいろな体験ができたことで、成長したように思います。卒業後は徳島大学で勉強したことを活かし、ベトナムで活躍したいと考えています。もちろん、体験できた日本の文化や日本の美しさをベトナム人に伝えます。急速にグローバル化が進んでいる現在の社会で、日本とベトナムとの関係に少しでも貢献できればと思います。いつも支えてくださった徳島大学の方々から感謝します。残り1年間の留学生生活を有意義に楽しみたいのです。